

# 第1回研究会概要

日時： 平成28年11月17日(木)10:00-12:00

テーマ： 「雇用関係によらない働き方」の現状及び人材育成・教育訓練のあり方について

## 【1、プラットフォームと働き手によるプレゼンテーション】

プラットフォームおよび働き手からプレゼンテーション。人材育成・教育訓練に関しては以下の通り。

	プラットフォーム	働き手
1	<ul style="list-style-type: none"><li>✓啓蒙活動の一環として<b>表彰</b>（ランサーオブザイヤー）実施</li><li>✓登録フリーランサー向けに<b>セミナー・研修</b>を実施。講師には実際に働いているフリーランサーも招いて実施している。</li></ul>	<p><u>（プログラマーとして勤務した後、起業等を経験後、今に至る）</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓自身の“生き方”としてフリーランサーの働き方を選択した。</li><li>✓（自身の起業経験による成長などを振り返ると）<b>チャレンジする機会の支援</b>が最も必要ではないか。</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>✓啓発活動として、総合職でフリーランスを目指したい女性向けメディアを開設し、<b>必要スキルやロールモデル</b>などを発信。</li><li>✓（同社のターゲットである総合職領域は座学形式より実務を通じた経験が重要なため）<b>経験が足りない人に経験豊富な人とセットで業務経験を積んでもらう仕組み</b>を取っている。</li></ul>	<p><u>（人事組織開発領域のコンサルファーム出身）</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓専門的な技能・知識は自身で磨く。</li><li>✓ただし、<b>立ち上り当初は「新しい仕事を獲得する力」の必要性を痛感</b>した。</li><li>✓また、発注企業側にも課題がある。業務切り分けなど発注スキル向上が必要ではないか。</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>✓登録者の<b>プロフィールデータや業務実績を可視化</b>（例：化粧品eコマースを○%改善...等）</li><li>✓デジタルハリウッドおよびリクルートジョブズと連携して「<b>グロスハッカー養成講座</b>」などを実施。</li></ul>	<p><u>（左記の講座受講により未経験からWebデザイン等のスキル取得）</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓上記講座の卒業生9名でチームを組み今の働き方に従事。<b>立ち上り当初はプロにもサポート頂き業務経験を積んだ。</b></li><li>✓<b>ネットワーク（仲間）</b>による教えあい・助け合いによる成長を実感している。</li></ul>

## 【2、ディスカッション】

### ① 雇用関係によらない働き手のキャリア・スキル意識について

- ✓ 「独立志向」・「上昇志向」の両方ある人が起業を目指すのに対し、「独立志向」はあるけど「上昇志向」ではない人が、フリーランスを志向するのではないか。**上昇志向はなくてもプロフェッショナルや優秀な人がいる**ことは認識しないとイケない。
- ✓ 専門性のみならず**機会の獲得能力（営業能力）**や**経営管理能力**が必要。そうした訓練の場をどうやって獲得するか。ネットワークの仕方やキャリアの自律性が重要ではないか。
- ✓ **同じフリーランスでも「エントリーレベル」と「ハイスکیلレベル」で育成課題やニーズは異なる。**各々に即した対応が必要。

#### ア) エントリーレベルの育成

- ✓ 教育投資に見合うだけの仕事・収入を得られるかが重要。欧州では仕事に結びつくような育成機能を持つ。  
コミュニティがあるが日本ではなかなかそうした機会がない。
- ✓ 実務経験に基づいた成長のために**チーム協働による実務経験**などは重要。

#### イ) ハイスکیلレベルの活躍促進

- ✓ 「**5年程度のスパンで新たな専門性をいかに身につけているか**」かがポイント。その際、**「プロがプロを教える」**という仕組みが大変有効。
- ✓ 教育投資は自分の専門領域の深化に特化し、苦手領域はアライアンスやチームなどで補うようにしている。

## 【2、ディスカッション】

### ② 人材育成・教育訓練の提供主体とその内容

#### ア) 企業

- ✓ 職務要件の切り出しや企業の発注スキルが重要。

#### イ) プラットフォーム

- ✓ 「人は仕事を通じて成長する」点を鑑みると、プラットフォームでは成長機会の提供による支援が必要。
- ✓ 働き手の抱える課題に関する情報提供が求められる。

#### ウ) その他教育機関等

- ✓ 欧州では業界が投資し人材を育てる仕組みがある。ソムリエ協会による資格人材育成が典型。日本でも例えば、業界による独自の人材育成という視点も必要ではないか。

### ③ 人材育成・教育訓練に係るコスト

- ✓ 今回、ITスキルを学ぶために受講した費用は20万円（プラットフォームからの補助で割引）。これがギリギリだった。決め手は**スキル取得後に仕事に直結**すること。プラットフォームとの連携が謳われていたので安心感があった。